

「レンコンネモグリセンチュウ」を知ろう

レンコン黒皮症の原因であるレンコンネモグリセンチュウ（以下、レンコンネモグリ）を知り、適切な対策を行ってください。

【レンコンネモグリの特徴】

レンコンネモグリは、れんこん根部に寄生するため、根部の方が土壌より、はるかに多く生息しています（表1）。

表1 同じ圃場で採取した根または土壌中のレンコンネモグリ数（令和5年4月調査）

根（頭/5g）	土壌（頭/300ml）
79	6

過去の室内試験では、絶食状態かつ10～30℃の条件下で150日以上生存しました。



頭部に口針があり、口針を植物細胞にさして栄養を吸収します。
レンコンネモグリの口針は、他の植物寄生性より太く明瞭です。

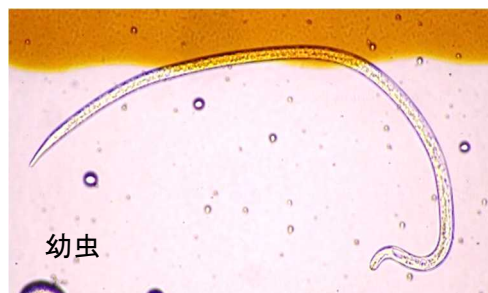
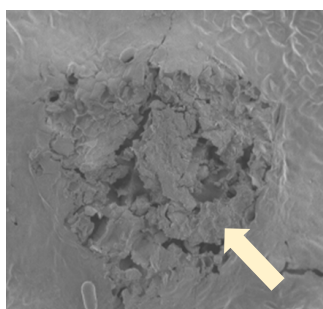
動きはゆっくりしています。
土壌内では、土粒間にある水を通して移動すると考えられています。

植物に寄生するセンチュウの中では体長が比較的大きく、幼虫でも1mm以上、成虫は3mm程になります。



根部中のセンチュウ

レンコン黒皮症の黒点部分を電子顕微鏡で観察すると、組織の崩壊と陥没が見られます。
レンコン黒皮症は、レンコンネモグリが、れんこん表面を傷つけたことなどにより発生します。



普及センターでは顕微鏡下で動きや口針の有無により、レンコンネモグリを判別しています。

【レンコンネモグリの1年】

- ・ レンコンネモグリの発生は、1年1世代の年一化性と考えられています（図1）。
- ・ 根部中のレンコンネモグリ数は9月頃にピークとなり、その後は減少します（図2）。

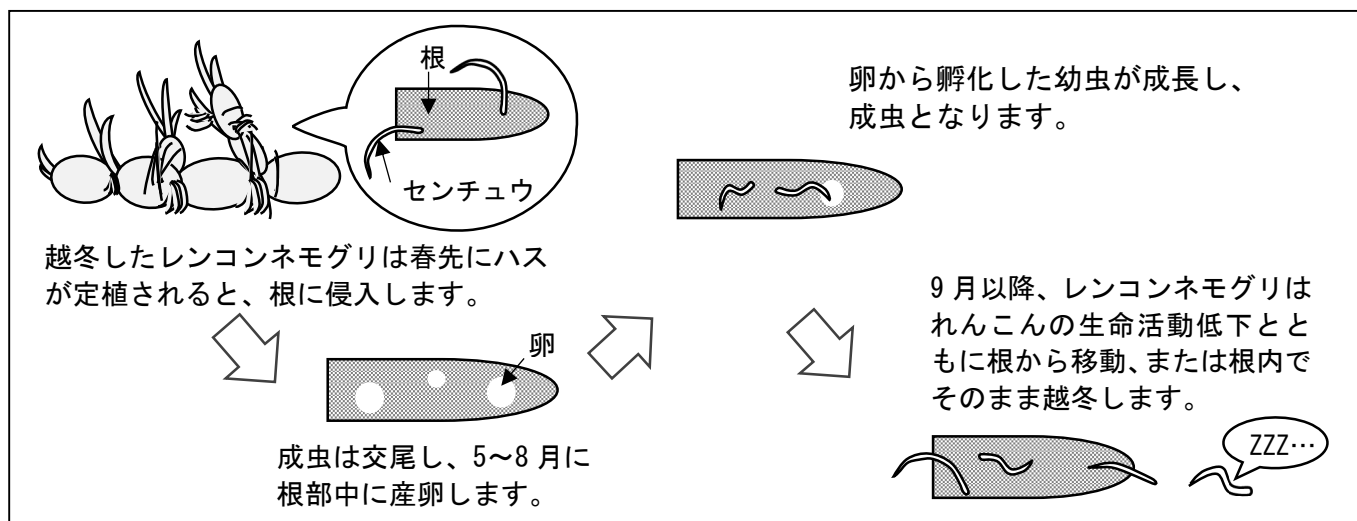


図1 レンコンネモグリの1年

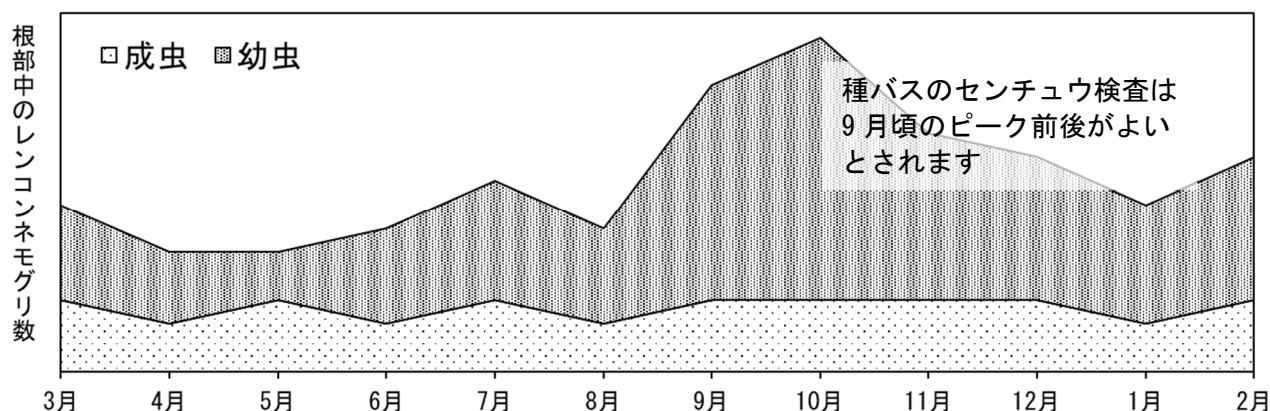


図2 根部中のレンコンネモグリ数の変化

【レンコンネモグリが苦手とする条件はあるの？】

乾燥に弱いので、使用した用具や機械は泥を洗い流した後に、完全に乾燥させます。



石灰窒素とグランドオンコル粒剤は効果のある登録農薬です。

極端な酸性・アルカリ性の条件下では生存できない可能性がありますが、現時点で詳しい知見はありません。

温湯処理によるレンコンネモグリの致死条件は明らかになっています（表2）。しかし、れんこんの生育に悪影響を及ぼします。

表2 レンコンネモグリが温湯処理で致死する条件

温度	40℃	43℃	50℃
処理時間	4時間	1時間	5分以内

過去の試験において、9万Vの静電気を流しても、レンコンネモグリに効果がないことが確認されています。効果がなく、非常に危険なため、現地では絶対に行わないでください。